

日本ホメオパシーセンター岐阜北方

JPHE認定フラワーエッセンス療法士

JPHMA認定ホメオパスNo.1128

過去の家族構図の再演から

解放されたケース

溝口彩子



本症例は
ファー・イースト・フラワーエッセンス
のみを使用したケースです。

ファー・イースト・フラワーエッセンス
とは、フラワーエッセンス研究家の
東昭史プロデューサーによる
日本に自生する花々によって作られた
フラワーエッセンスです。

バッチ博士の哲学と伝統に基づいて
日本人の文化や風習に根差した
植物から作られた
エッセンスです。

主訴

30代女性。不要な感情を手放し、森羅万象への感謝に満ちた状態で亡くなりたい。全てを認め、受け入れ、許すことのできる魂になりたい。自分を愛し、他者に見返りを求めず愛を与えられるようになりたい。

背景

息子と姪の姿が、幼少期の自分と妹に見える。幼い頃のクライアントは自我に忠実だった一方、妹は母の期待や趣味に合わせることで可愛がられ、優遇されているように感じていた。その経験から、クライアントは寂しさを抱えてきた。

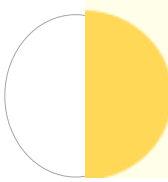
現在の母親は昔とは違うと頭では理解しているものの、息子が「母が好みそうにない行動」をとると、思わず「姪の方が可愛いと思われてしまう！」「嫌われるからやめて！」という感情が生じていた。

ポイント

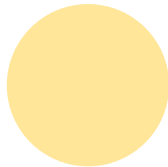
毎回、相談会ではクライアントに、花の写真を見て気になる花を選んでもらい、それを指針として、エッセンスの選択を行った。

1

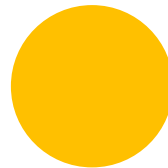
相談会 2026.02.27



スイセン | 花期：12～4月
希望、魂の闇夜に光を当てる



ニワトコ | 花期：3～5月
カルマに翻弄され自分を見失う、尊厳の回復
物事に動じない強さをもたらす



ヤマブキ | 花期：4～5月
過去の悲しみ、思い出、不要になった情報や
記憶を手放す

とり方

500mlの水に、3種類のフラワーエッセンスを
各7プッシュ加え、1日かけて飲用。
(2回目、3回目相談会も同様の方法で実施)

選択根拠

- ・クライアント選択→ニワトコ、フジ
- ・黄色の花で統一
- ・黄色のテーマ→悲しみ、恐れ、混乱、無意識のパターンから自由になること
- ・悲しみをくっきりと浮かび上がらせることを目的とした

経過

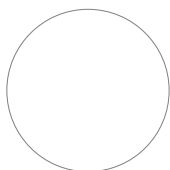
- ・前向きな日と落ち込む日が交互にきた
- ・息子と姪が遊ぶ姿を愛しいと見守れるようになった
- ・以前よりも妹と仲良くなれた
- ・人との比較が減った
- ・「こうあるべき」が減った
- ・自分を好きになりたいと思えた

2

相談会 2026.04.06



コアジサイ | 花期：6～7月
過去の記憶の統合、自分と自分の身の上で起こることへの信頼感をもたらす



サカキ | 花期：6～7月
心の奥深くに沈む暗い感情に光を当て、軽やかに解放



キクニガナ | 花期：6～10月
愛に見返りを求めて葛藤



ツクサ | 花期：6～10月
他人と自己への包容力、安心して自分らしさを開花
恐れの手放し

選択根拠

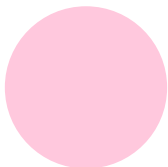
- ・クライアント選択：クズ、ヒガンバナ
- ・コアジサイ、サカキ→過去に遡る問題解決
- ・キクニガナ→**キク目の特徴**＞スタミナと活力
- ・キクニガナには母親に対するわだかまりが残存していないかの確認の意図を込めた
- ・青色の花で統一
- ・青のテーマ：知性、真実、母性愛

経過

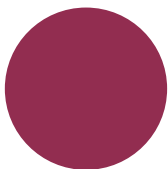
- ・飲用開始一週間後、母に対して距離を置きたい気持ちになる
- ・母の匂いや眉間の皺など、これまで気にならなかったことに強い嫌悪感
- ・母への嫌悪感が強まった
- ・「母はこうあるべき」という理想に気づく
- ・母なりの愛に気づいた
- ・母への愛しさが芽生える
- ・「支えたい・守りたい」という思いが生じた
- ・「見捨てられるかもしれない」という恐れが消失
- ・息子への感情的な叱責が減少
- ・息子の癪癢時も周囲の目を気にせず、落ち着くまで見守れるようになった

3

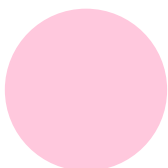
相談会 2026.05.27



ママコノシリヌグイ | 花期：5～10月
インナーチャイルド、深い悲しみの解放



クズ | 花期：8～9月
葛藤の解消、精神・オーラの保護と修復



フヨウ | 花期：8～10月
傷付くことを恐れず、ハートを開き続ける



ガガイモ | 花期：8～9月
グラウンディング、安定

選択根拠

- ・クライアントによるエッセンスの選択はなし
- ・ママコノシリヌグイとガガイモは母親へのわだかまりが残存していないか確認のため選択した
- ・ガガイモ→母親の愛をめぐる兄弟間の競争や嫉妬
- ・クズとフヨウは、変化のプロセスを前向きに進められるよう、補助として選択した

結果

- ・母は妹の味方という思い込みが消失
- ・妹への嫉妬が消失
- ・孤独感、満たされなさ、愛されたい欲求が消失
→パートナーが変化に驚いた
- ・自己否定と希死念慮の消失
- ・「自分を自分で愛せている感覚」の芽生え
- ・未来への漠然とした不安の消失
- ・心に軸ができ、大丈夫と思える
- ・「助けて、助けて」という、一人でいる時に繰り返されていた頭の中の声が消失
- ・断捨離の意欲が沸いた
- ・シンプルで生きやすくなった

考察

クライアントの根底には、「無条件の愛」を体現したいという切実な願いがあった。母というテーマは長年にわたり人生の中心にあり、若く健康でありながら「感謝に満ちた状態で亡くなりたい」「すべてを認め、受け入れ、許したい」と語る姿から、その葛藤の深さがうかがえた。

フラワーエッセンスの使用により、記憶と感情の強い結びつきが緩み、置き忘れていた悲しみと恐れが安全に顕在化し、統合された。理想の追求から感謝へ、自己否定から慈しみへ、過敏な反応から見守りへと変容し、過去の構図への強い縛りから解放された。

また、花々の簡単な解説を添えて、毎回適用書を出していたが、クライアントはその情報を一度手放し、先入観を持たず、無心で花々に身を委ねていたという。その素直で開かれた姿勢が花々との親和性を高め、フラワーエッセンスの働きとクライアント自身の治癒力の双方が、最大限に引き出された事例であったと感じている。

クライアントさまの感想

こんなに手軽に取り入れられるもので、幼少期から抱えていた生きづらさがなくなるなんて…。この変化に驚くとともに、感謝の気持ちでいっぱいです。

この経験を通して、植物には偉大な力があり、人間にとってなくてはならない存在なのだとあらためて感じました。

魂の深いところにまで届いてくれる植物の力は、本当にすごいです。





最後まで御覧いただき、ありがとうございました！



なにげなく
気なった花のエッセンスを
手にとってみてください。

あなたは
必要な花々を
知っています。

自分と
植物たちを
信じ身を
委ねてください。

植物たちが
時間と空間を超え
つながって
くれるでしょう。

